

蓮池さん韓国語授業

第一学院高富山キャンパス

北朝鮮による拉致被害者の蓮池薫さんが17日、通信制の第一学院高富山キャンパス（富山市）で韓国語の特別授業を行った。写真。生徒の質問に答える形で、朝鮮半島情勢についても解説した。

蓮池さんは現在、新潟産業

大（新潟県柏崎市）の准教授で、韓国語や韓国文化の講義を担当する。特別授業は、第一学院からの進学先にもなっている同大に依頼した。



特別授業では、通学コースの生徒約20人に初歩から説明。韓国語は日本語と語順が同じで、互いの単語にはよく似た発音のものが多くことなどを紹介した。

授業の後には、生徒が拉致問題の現状や北朝鮮の人たちの暮らしぶりなどを尋ねた。蓮池さんは、米朝首脳会談の実現に関して、「米国と（軍

事力で）張り合い続けることはできないと判断したのだろう。核を放棄すれば、中国の保護の下で経済発展する可能性もある」と述べた。北朝鮮国民の一部は中国経由で韓国ドラマを見ていることも紹介した。

終了後には「朝鮮半島情勢が高校生にも身近な問題になっていると感じた」と語った。